請　願　文　書　表　（令和７年２月２８日定例会提出）

請願第１３号

鼓阪小学校と佐保小学校の統合に反対する請願書（行財政改革及び公共施設等検討特別委員会付託）

令和７年２月１７日受理

請 願 者　●●●●●●●●●●●●●●●●
小　川　結　愛

紹介議員　宮　池　　明

私は、鼓阪小学校と佐保小学校の統合に反対です。

なぜなら、この学校がなくなることで、たくさんの大切なものを失ってしまうからです。まず、鼓阪小学校には私たちが毎日楽しく過ごしている場所があります。校庭で友達と遊んだり、体育館で元気に運動したり、教室で先生と一緒に勉強したりすることができます。この学校で学んだこと、経験したことは私たちにとってかけがえのない思い出です。人数が少ないからといろいろ言われますが、人数が少なくて困ったことは一度もありません。１年生から６年生まで皆仲よく過ごせるし、家族兄弟のようにも過ごせます。もし学校がなくなったらこうした思い出をつくることもできなくなってしまいます。

私たちが学校やクラスで何かを決めるときは必ずみんなで話合いが行われます。みんなで話し合ってみんなが納得いくまできちんと話します。

担任の先生はそのような場をきちんとつくってくれます。でも統廃合の話は私たちは何も知りません。

後から聞いた話でしか分からないし納得もいってません。誰と誰が話し合って決まったのか、また、私たちの意見は何も聞いてもらっていないのにどうして統廃合するのが決まっているのか不思議で仕方ありません。

私たち６年生は卒業しますが、下級生は統廃合されると新しい学校までの通学時間が長くなってしまいます。今までは家からすぐに登校できましたが、新しい学校が遠いと朝早く家を出なければならず冬は暗い中を歩くことになってしまいます。安全面でも心配ですし体力的にも大変です。

バスが出ると聞きましたが、乗り遅れた子たちはどうなるのか考えるとそれも不安です。さらに、私たちは鼓阪小学校の先生方や地域の人たちに支えられてきました。運動会やお祭りなど地域の行事もこの学校を中心に行われてきました。

学校がなくなると地域とのつながりが弱くなったり、今までのような温かい交流ができなくなるかもしれません。

鼓阪小学校は私たちの大切な居場所です。この学校を守るために統廃合しないでほしいです。

私たちの未来のためにどうかお考え直してください。